



日本共産党 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小山 敏正

第184号

2018年
2月号

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

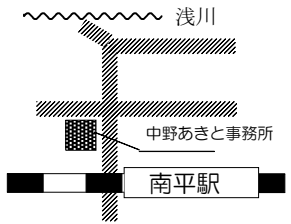
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



中野あきとさんに期待します



市民生活を守るために、中野あきとさんは絶対に必要です。中野あきとさんは、平山6丁目の違法生コン工場移転問題や、ごみ焼却場・違法ごみ搬入路問題など、いつも市民運動とともに歩み、徹底した調査研究でその知恵袋になってきました。市政への復活を切に願っています。

地方自治の現場で
大いに力を発揮してほしい

弁護士 窪田之喜



中野あきとさんの論戦力は市議会でもダンツです。都市計画や自治体財政についての知識は専門家並みです。論戦は相手を切り捨てるものではなく情理を尽くします。日本共産党市議団の大黒柱というだけでなく、市政にとってなくてはならない存在です。

日野市になくってはならない
政治家

元市議会議員 中谷好幸



個人の尊厳を大切に する安心の日野へ

中野あきと

「誰もが一度しかない人生を、尊厳をもって暮らしていける日野に」・・・この思いをもつて、再び市政に挑戦します。都議選では、自民現職に863票差まで迫る中で、日本共産党の役割の重さを再確認しました。今度は負けられません。

ご支援を心からお願いいたします。

中野あきとプロフィール

福岡県久留米市生まれ。49歳。中央大学法学部卒。前市議（5期19年）。昨年7月の都議選に挑戦するも惜敗。市議会副議長など歴任。オフはもっぱら本屋さんや日帰り温泉へ。家族は妻、子ども2人。

短信

「いよいよ（改憲）実現の時」。自民党の議員総会で檄を飛ばす安倍首相。平和憲法に基づく戦後政治のもと、地下水脈の政治の潮流が、一気に噴き出した感じがする▼「戦争を知る世代が政治の中枢にいるうちは心配ない。だが、知らない世代が中枢になったときはとても危ない（田中角栄）」。「改憲に前のめりの首相発言を受けて、『朝日』の「折々のことば」が元首相の言を紹介した▼かつて憲法を暮らしに生かす市政が続いた日野。2014年6月、自民・公明と当時の民主会派が賛成して改憲推進決議を強行した。翌年6月には国民的反対運動に逆らい、安保法制促進決議も可決。東京広しといえどもこんな事例はまれだ▼現有7議席の自民。市議選では2議席増を狙い公明と合わせて市議会の過半数をめざすとか。南平・平山地域の自民系は現在1人。ここを基盤に議席増を狙う2人が立つという▼野望が挫折すれば首相は政治基盤を失い、それは倒閣にも連動する。改憲促進の議席増を絶対に許すな。戦争する国への策動を砕き憲法が生きる政治への道を。厳冬下、勝たねばならぬ熱い闘いである。（K）

中野 あきと

市政を動かす確かな提案・実績

**まち壊し
条例提案で迫り開発条例を制定**

日野の緑や住環境を壊す乱開発が吹き荒れた時、住民と共にたたかいながら、これを規制するための条例案を研究し議会へ提案。自民党議員と大論戦の末、市長はこれまでの態度を変えて「条例を出す努力をした」と答弁。

その一か月後、臨時議会が開かれて同趣旨の条例案が提案され、全会一致で可決成立しました。

違法生コン工場の撤去！

20年以上も放置されてきた平山6丁目の違法生コン工場。特定行政庁としての日野市の責任を議会論戦で徹底的に追及し、市政を動かして2年半で解決を図りました。

待機児

徹底論戦で6つの認可保育園増設へ

増え続ける保育園待機児の現実を前に、毎年1つの保育園しか増やそうとしない市に、抜本増設を求めて徹底論戦。平成28年6月議会の論戦で大坪市長は「計画を超えて認可保育園をつくっていくことを考えています」と答弁。

この結果、この4月へ向け3園、来年4月へ向け3園の合計6園増

設で820名の定員拡大が図られることになりました。

**負担増
国保値上げの不当性暴き連続値上げ
をストップ**

国保財政は4年間で約43億円の財政不足になるから、18%、1人当たり1万2000円の値上げが必要と強行を図った市に、実態を分析しその不当性を突きつけて徹底的に追及。その後検討されていた連続値上げは、市の思惑通りに進まず、この2年間ストップしています。

**公契約
繰り返し積極的提案で迫り公契約条
例制定へ**

市役所内部で公契約研究会を設置しながら遅々として進まず、出されてきた報告書を見れば半ば条例の必要なしと。市議会では報告書の問題点もただしながら、公契約条例の必要性を繰り返し提案。答弁にたった市長は「過去3年間の歩みが遅かったことを反省し、それを目指していきたい」と答弁。

その後動き出し、今年3月に条例案が提案される見通しです。



中野あきとはめざします（重点政策）

公共交通の抜本的充実で気軽に出かけられるまちへ

●ミニバス南平、平山路線の増便、バス停の改善・充実を ●南平台、南平駅前、南平5丁目にワゴンタクシーの導入を ●市立病院への乗り継ぎなしで行けるよう平山路線の改善を ●ワゴンタクシーの改善を（100円区間の設定、ドア・ステップの改善、最終便の18時台への拡大、土曜日の運行など）

待機児ゼロ・大規模学童の解消で、子育て安心のまちへ

●認可保育園の抜本増設で保育園待機児ゼロへ ●45人以上の学童クラブの分設、全クラブへ正規指導員の配置を ●私立幼稚園保護者をはじめとして費用負担の軽減を

人権、多様性が尊重されるまちを

●実効性のある障害者差別禁止条例の制定を ●同行援護、移動支援、コミュニケーション支援事業の月の利用時間制限の撤廃を ●市の支援で重度障害者が生活できるグループホームを ●発達障害、高次脳機能障害、難病、失語症の方への支援充実を ●LGBT・性的マイノリティへの差別をなくす条例を

住まいから介護まで、老後の安心を

●高齢者向け家賃助成制度の拡充を（公社住宅居住者も対象に） ●年金で入れる特養ホーム、グループホーム

の整備を ●介護保険の重い利用料負担に対する市の支援を

駅前商店街の再生・農業支援で、安心で活力ある地域を

●リフォームや家賃への助成、専門家の派遣などで商店街の再生プロジェクトを ●学校給食へ地元野菜等を提供する農業者への支援（運搬、品目、奨励金）拡充を ●生産緑地制度の維持・拡充、農業体験農園、直売所の充実へ向けた支援を

子どもの豊かな「育ち」を支える学校・地域づくりを

●少人数学級、特別支援教育のさらなる充実を ●就学援助、高校生奨学金の拡充を ●学校トイレの早期改修（洋式化）を ●住民参加で全公園の総点検・リニューアルを

低収入・不安定な働き方から人間らしい賃金・待遇へ

●公契約条例の制定で市の工事および委託等で働く人々の賃金・処遇改善を ●非正規職員の正職員化及び賃金・処遇の改善を ●市が独自支援を行い介護・保育・障害者施設等で働く人々の賃金・処遇の改善を

【大雪への緊急提案】

「高齢で雪かきができない」の声多数。日野市は地域の生活道路も歩道も除雪の対象として、必要な機具、予算、体制を確保すべきです。